

日本水上スキー・ウエイクボード連盟
2022年の活動報告と2023年の活動計画

日本水上スキー・ウエイクボード連盟
事務局

2022年の活動 - 講習および大会



- JWWF主催（もしくは後援、派遣）の講習と大会の主なイベント

時期	イベント	開催地	トピック
5/14-15	ジャッジ講習@耶馬溪	耶馬溪	
6/11-12	ジャッジ講習@東京	早稲田大学	
7/9-10	ジャッジ講習@東京	國學院大学	
7/30-31	全国ジュニア大会内ジュニア講習@宮崎	宮崎広沢ダム	台風の影響を受けるも実施
8/8-13	2022 IWWF Asian Waterski Championships	Korea, Chuncheon	中村成くん、Under 17 Boys Overall で優勝
9/12-9/18	2022 IWWF World Over-35 Waterski Championships	France, Ski Nautique Club de Bordeaux	神谷晴江さん、Over 35 Women Overall で3位
9/16-9/19	第67回全日本学生水上スキー選手権大会	大湊村	有観客
9/22-9/25	第68回全日本水上スキー選手権大会	大湊村	

2023年の活動 - 講習および大会



- JWWF主催（もしくは後援、派遣）の講習と大会の主なイベント

時期	イベント	開催地	トピック
TBD	ジャッジ講習@耶馬溪	耶馬溪、琵琶湖、東京	通常開催
7/13-17	第1回全日本水上スキー・チーム対抗戦*	琵琶湖	6人のチーム戦
8/6	ジュニア講習*	琵琶湖	
8/20	ジュニア講習*	交渉中	
9/6-9/10	第68回全日本学生水上スキー選手権大会	大潟村	
9/14-9/18	第69回全日本水上スキー選手権大会*	交渉中	君津もしくは琵琶湖
10/8-10/15	2023 IWWF World Waterski Championships*	USA, Sunset Lakes, Groveland, FL	6名のチームを派遣

* JSCのくじ助成および基金助成を申請しているイベント

2022年の活動 - 全日本大会

- エントリー63名（のべ119名）、ジャッジ25名、4.5日間開催
 - ジュニア（U-17の年齢以下）6人参加
 - インカレと設備の共有で、一部の経費を分担
 - 収支：6,686,750の支出を、JSC助成 3,764,000、参加料 805,000、事業費 1,861,745で対応

(収入)	(単位：円)
基金助成金収入	3,764,000
協賛金収入	256,000
入場料収入	0
参加料収入	805,000
補助金・委託金等収入	0
その他収入	5
自己負担金	1,861,745
合計	6,686,750

(支出)	(単位：円)
諸謝金	75,795
旅費	2,536,673
借料及び損料	1,611,734
消耗品費	354,081
スポーツ用具費	76,320
印刷製本費	125,400
通信運搬費	14,298
雑役務費	1,872,069
その他	20,380
合計	6,686,750



2022年の活動 - 2022 IWWF Asian Waterski Championships

- Max Kirwan Trophy (チーム総合優勝) を獲得



2022年の活動 - JOC、JADA、JSC



- JOCメンバーとして「ガバナンスコード」の制定と取り組みを提出し、承認されています。
 - 13の原則に設定された43の審査項目に対して、JWWFとしての対応を制定し公開しています。
 - <https://jwsa.jp/aboutus/organization/>
 - ポイントは下記になります。
 - 適正な組織運営のための、中期計画、組織人員、規定、の確立
 - コンプライアンスの強化のための、委員会設置、教育の実施
 - 組織の強化のために、下記の項目の管理体制の確立
 - 法務、会計、情報開示、利益相反、通報制度、懲罰制度、選手と指導者の紛争の解決、危機管理および不祥事対応、地方（傘下）組織へのガバナンス
- JADA（アンチ・ドーピング）のメンバーとして、啓蒙活動を実施しています。
 - JADA製本の配布とその内容を浸透させるための講習の実施（本日も講習を予定しています）
- JSCに全日本大会、ジュニア講習の助成金を申請しました。
 - 全日本大会とジュニア講習に助成金をいただいています。



スポーツ振興基金
独立行政法人日本スポーツ振興センター



2022年の決算 収入=支出の見込み



- 収入と支出とも、ジュニア講習と君津整備で例年より増加

収入	
会費	5,413,890
助成金	7,616,615
事業収益	1,617,812
その他収入	519,775
合計	15,168,092
(収入に加算)	
その他協賛	500,000
収入見込み	15,668,092

助成金内訳	
マリンスポーツ財団	350,000
JSCジュニア講習	848,000
JSC全日本大会	3,702,000
君津市	2,716,615
合計	7,616,615

支出	
全日本大会	6,686,750
ジュニア講習	1,259,006
保険料	261,858
諸会費	1,255,585
その他事業*	2,822,948
管理費	716,680
合計	13,002,827
(支出に加算)	
管理費	200,000
その他	400,000
君津整備	2,000,000
支出見込み	15,602,827

収支見込み	65,265
-------	--------

* ジャッジ講習、アジア大会、インカレなど

2023年予算 - 4事業とPRで事業を活性化



- 4事業とPRに資金を投下し、事業を盛り上げ、会員のモチベーションを上げ、新規会員の獲得に繋がりたい
 - 4事業 = 全日本大会、ジュニア講習、世界選手権派遣、チーム戦

収入	
会費	5,000,000
助成金*	10,176,876
事業収益*	3,030,000
事業協賛金*	1,880,000
活動協賛金	1,500,000
合計	21,586,876

支出	
全日本大会	6,221,039
ジュニア講習	2,058,659
世界選手権派遣	4,430,261
チーム戦	6,741,887
PR	500,000
保険料	250,000
諸会費	300,000
管理費	800,000
合計	21,301,846

* 事業別内訳	助成金	事業収益	事業協賛金
ジュニア助成	1,222,880	150,000	380,000
全日本助成	3,097,081	1,200,000	250,000
世界選手権派遣	2,447,966	240,000	1,000,000
チーム戦	3,408,949	1,440,000	250,000
4事業合計	10,176,876	3,030,000	1,880,000

収支	285,030
----	---------

協賛金の見通しが立たない場合は、全日本大会以外の事業の構成は見直します

2023年の活動 - 都府県連および学連のチームによる団体戦を開催



- 全日本大会とは別のモチベーションを醸成する大会として新たに開催します
 - 参加：各都府県連、各都府県連の所属チーム、学連に所属する大学チーム、を単位とします
 - 編成：3種目を通して6名まで、ただし同姓は4名まで*
 - 得点：各種目で個人の換算点を算出し、チームの上位3名の換算点の合計がチーム得点*
 - 基準：*編成と得点の設定は、IWWFの世界大会のチーム戦のルールを基準にしています
 - 資格：ジュニアとシニアは各条件で参加、その記録に加算後の得点を換算点にします（詳細検討）
 - 場所：琵琶湖（これまでの琵琶湖大会の環境を活用します）
 - 日程：7/13-17（7/13 設営、7/14 公開練習、7/15-7/17 競技）

15.02: Team Selection

Each Federation which is affiliated with the IWWF shall have the right to select a team of skiers to represent their Federation in the World Championships. The team shall consist of a maximum of six skiers, with the further limitation that no team may have more than four men or four women.

IWWF 2023 World Waterski Rules を参照してください

<https://iwwf.sport/2023-world-waterski-rules-released/>

e) Team Scoring

In team competition, the best three Team scores, men, or women, in each event (in the preliminaries or finals) shall be summed up to obtain the team score. The best performance in an event in the preliminary or final round by a team skier shall be awarded 1000 points and be referred to as the “Best Team Score”. All other performances shall be calculated according to the above formulae substituting “Best Team Skier’s Score” for “Best Overall Skier’s Score”. The performance by a skier who is not an official member of his Federation’s team shall not be taken into consideration in the calculation of the team score. Team scores are separate and distinct from Individual overall.